

令和2年度 学校経営計画

大垣市立赤坂小学校

学校の教育目標

みんな なかよし

考える子

助け合う子

じょうぶな子

めざす学校像

- 一人一人が自分のよさを自覚しながら、主体的に学び、活動する学校
- 教職員がめざす児童の姿を共有し、協働して教育活動を推進する学校
- 児童・保護者・地域・教職員が誇りをもち、ともにつくる特色ある学校

学校経営の方針

- 常に子どもに寄り添って一人一人をありのままに受け入れ、全職員の共通理解と共通行動のもとで、個人や集団の質的向上を図る取り組みを意図的に実施することを通して、教育目標の具現を図る。

	確かな学力の定着	豊かな心の育成	たくましい心身の育成	地域に根ざした信頼される学校
中期目標	○仲間とともに主体的に学習する楽しさを味わわせ、確かな学力を身につけた児童を育てる。	○自己肯定感をもち、自分らしさを発揮しながら、仲間と協調して生活できる児童を育てる。	○進んで健康や体力づくりに取り組むとともに、命を守るための判断や行動ができる児童を育てる。	○地域の自然・歴史・文化・産業などの学習を通して、ふるさとに誇りと愛着をもつ児童を育てる。
R2重点目標	○自分の考えを筋道立てて分かりやすく伝える力を高めることができる授業をつくる。 ○算数、国語の基礎的基本的な学習内容の定着を図る。	○自己肯定感の高い児童を育て、不登校やいじめ、問題行動の未然防止と早期発見・対応に努める。 ○進んで挨拶、静かに隅々まで掃除ができる児童を育てる。	○健康や体力に関心を持ち、めあてを意識して実践できる児童を育てる。 ○約束やきまりを守って安全に生活できる児童を育てる。	○赤坂の自然や文化等を学び赤坂のよさを見つけ、語るができる児童を育てる。 ○子ども達や学校の状況を適宜発信して周知と理解を図る。
担当	学習・特活指導部	①学習・特活 ②保健・安全	保健・安全指導部	教頭 教務 各学年
具体的な方策	①論理の話ができる力を付け、必然性のある交流の場や発言の場を設定する。 ②一人一人の学習状況を確実に把握して指導と支援をし、国語と算数の基礎基本を定着させる。	①お互いのよさを認め合う活動や学校生活を高める活動を意図的に仕組むことによって、自身のよさや努力の成果を実感させる。 ②児童会や学年の取組を充実させることにより、挨拶や掃除に対する意識と実態を高める。	①体育の授業や委員会活動を核として、適切な場を設定することによって体力や衛生的な生活の質的向上を図る。 ②休み時間や登下校などの様子を把握し、事故や怪我のない生活をしようとする意識をもたせ、指導を徹底する。	①どの学年でもふるさと学習を実施し、自然や文化、歴史、産業等の学習を通してよさを知る。 ②学校支援ボランティア等の地域人材を活用して、教育活動の充実を図る。 ③ホームページやメール配信、学校だより等を活用して、タイムリーな情報発信をする。
指標	①自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 児童評価：82% 職員評価：80% ②学習内容が分かる。 児童評価：93% 保護者評価：90% 職員評価：80% CRT：国語・算数 全学年平均以上	①自分によいところがある児童評価：90% ②楽しく学校生活を送っている。 保護者評価：97% 児童評価：88% ③自分から挨拶ができる。 児童評価：88% ④掃除時間いっぱい、黙って自分の役割を果たす。 児童評価：86%	①体育時間に決められた回数走りきっている。 児童評価：95% 職員評価：94% ②安全に気を付けて生活している。 児童評価：95% ③約束を守って登下校している。 児童評価：90%	①ふるさと赤坂のよさを知ることや感じる事ができた。 児童評価：93% ②ボランティア活動によって教育活動が充実した。 職員評価：100% ③学校は十分な情報提供を行っている。 保護者評価：96%

【働き方改革】 教職員の働き方への意識改革と業務改善を行い、子どもと向き合う時間を確保するなど、学校教育の質的な向上を図る。

方策等	①全職員の意識改革と共通理解を図りながら創意と工夫をし、行事や事務的業務の改善や精選、効率化に取り組む。 指標：成果が上がったと評価した職員 100%	②毎週月・水曜日の「リフレッシュデー（18時退勤）」、最終退勤20時の遵守に努める。 指標：年間350時間以内達成職員 80% 学校としての年間350時間以内100%
-----	--	---

評価計画

評価	自己評価		学校関係者評価
評価者	学校職員	児童・保護者アンケート	学校評議員等
評価時期	4月(共通理解) 7・12月(評価)	4月(保護者説明) 7・12月(評価) 9・1月(公表)	7月(説明) 11月・2月(説明・評価)
評価内容と評価方法	・重点目標と具体的な方策(4段階評価) ・他の教育活動、組織、行事、日課、子どもの姿等(記述)	・児童評価 学校生活・家庭学習等 ・保護者評価 子どもの姿(学校・地域)、教職員の指導・支援、家庭学習(4段階評価)	・学校から学校経営計画、自己評価内容・結果・改善点について説明 ・自己評価や学校経営全般についての感想、意見、質疑(聴取)